

◇今年の桜は、昨年に比べて数日遅れて咲いた地点が多く、入学式や入社式をはじめとする春の行事に彩りを添えてくれたのではないのでしょうか。編集後記を執筆している現在、分析化学討論会の開催地である愛媛・松山にて気温が20度を超え、春らしい陽気を感じさせます。討論会当日（5月31日・6月1日）も、天候に恵まれ、穏やかな気候のもとで無事に開催されることを願っております。

◇今号の「とびら」では、『発表の場をつくる』と題してご寄稿いただきました。「リレーエッセイ」は、研究活動を通じた人との出会いの意義が綴られています。発表の場が新たな知見のみならず、人との新たな関係性を築く契機となり、学術の進展に寄与することを改めて実感いたします。ぜひ討論会や年会にもご参加いただき、開催地の文化に触れながら、交流の輪を広げてみませんか。

◇このほかにも、今号ではクロマトグラフィー（入門講座・解説）、分析用試薬（ミニファイル）など、さまざまな分析トピックを紹介しています。読者の皆様の研究活動の一助となれば幸いです。今回も、最後までお読みいただきありがとうございます。

[I.Y.]

〈とびら〉

分析化学誌日より 竹内 政樹

〈入門講座〉 分析におけるコンタミ・キャリアオーバー対策

電子顕微鏡におけるコンタミネーションとその対策
..... 根本 佳和・山下 健一

〈解 説〉

グリコサミノグリカン分析法と

機能的食品の品質評価の重要性 平井 健吾

〈ミニファイル〉 分析用試薬

キレート試薬とキレート滴定 相多 利博

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四 宮 一 総 (日 本 大 学)

〈副委員長〉 稲 川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)

〈理 事〉 山 口 央 (茨 城 大 理)

〈幹 事〉 糟 野 潤 (龍谷大先端理工)

原 賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)

〈委 員〉 石 橋 千 英 (愛媛大院理工)

北 牧 祐 子 (産業技術総合研究所)

鹿 籠 康 行 (東北大学金属材料研究所)

原 田 誠 (東京科学大理学院化学)

山 口 浩 輝 (味の素(株))

高 橋 豊 (E&Mソリューションズ(株))

上 田 忠 治 (高知大農林海洋科学)

久保田 哲 央 (アジレント・テクノロジーズ・インク)

岡 崎 琢 也 (工学院大先進工)

坂 真 智 子 (株) エ ス コ

角 田 誠 (東 大 院 薬)

半田友衣子 (埼 玉 大 工)

三 原 義 広 (北海道科学大薬)

勝 又 英 之 (三 重 大 院 工)

高 橋 幸 奈 (丸大カーボンニュートン)

橋 本 剛 (上 智 大 理 工)

岡 林 識 起 (日大生物資源科学)

佐 藤 惇 志 (株) ラ イ オ ン

西 崎 雄 三 (東洋大食環境科学)

村 山 周 平 (昭和医科大薬)

大 江 知 行 (東 北 大 院 薬)

萩 森 政 頼 (武庫川女子大薬)

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階

一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2025 年 第5号（通巻605）

2025 年 5 月 1 日印刷

2025 年 5 月 5 日発行

定価 1,000 円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印 刷 所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 13-11

株式会社 双文社印刷

発 行 所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2

五反田サンハイツ 304 号

公益社団法人 日 本 分 析 化 学 会

電 話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2025, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。